

平成29年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名	豊科高等学校	課程（全日制）
-----	--------	---------

実施年月日(曜)	平成 29年 10月 11日 (水)						
授業時間(時限)	12時 45分～ 13時 35分 (4時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	2年・国語(古典B)						
授業者名	金森宏明 教諭						
形態	初任研・中堅研・教育課程研究委員会・ 小中高算数・数学研究会 <u>その他</u> (21世紀教育モデル校) (○をつける)						
授業公開対象者	県内高等学校、近隣中学校						
授業参観者数	校内		校外			その他	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒	()	
	7人	0人	6人	0人	0人	人	
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	中高連携の視点から、近隣中学校への周知について、年度当初に市内各中学校教頭先生に参観のお誘いを出し、その上で、実施1か月前に開催案内を送付した。						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	<p style="text-align: center;">13時 45分 ～ 14時 35分</p> 参観していただいた先生方の中で時間の都合のつく方及び本校国語科教員など合わせて9名で実施した。 ○生徒の学ぶ姿に関して ・黒板に協力して答えを書く姿、グループに戻っても書いた内容について他の仲間と検討する姿など、生徒たちの意欲の高さが良かった。 ○グループワークに関して ・高校でもグループ活動をこれだけ大切にしていることを明日、中学生にも伝えたいと思います。 ・話し合いや助け合いがしっかりできていて、古典訳のグループ活動は有効だと思った。						
成果と課題	・教科として捉えている「21世紀型学力とは？」の方向性を昨年度の実践から積み上げている点は良い。その上で、主体的な学習者の育成に生きるグループワークを通じた授業実践を、どう学年・学校全体に広げるかが課題。また、主体的・協働的な学習を生み出す学習課題の位置づけが重要。「どういうこと？調べたい・・・。仲間と追究したい。」と生徒に思わせる学習課題の決め出しについての研究を進めたい。						